

Build Live Tokyo 2010 参加要項

2010年9月9日

● 参加資格

- ・ Build Live の開催趣旨に賛同し、競技に参加いただけるチーム、個人
- ・ アドホックなチームによる参加も可能
- ・ 期日までに所定の参加登録を行う（10/1 締め切り）
- ・ ブロードバンドのインターネット接続が必要
- ・ 参加、登録は無料

● オブザーバー登録

Build Live には、参加する以外にも見学者として登録が可能。

- ・ 「サーバ見学登録」：全チームのデータ共有サーバを覗くことができる。公式 Blog の更新情報などをメールで受け取ることができる

● 参加登録とクラス

以下のクラスを設ける。参加者はいずれかのクラスにエントリする。

- ・ 実務クラス：実務者を想定した制限のないクラス
- ・ 学生クラス：学生を対象としたクラス。先生の協力は可

● 審査員

- ・ 松家 克 氏 武蔵野美術大学 理事、ARX 建築研究所 代表
- ・ 山口 重之 氏 東京都市大学 都市生活学部 教授
- ・ 池田 靖史 氏 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授、IKDS 代表
- ・ 山梨 知彦 氏 日建設計 設計部門 副代表
- ・ IAI 日本

● 評価基準

- ・ クラス別にアワードを設け、アワードの評価軸に沿って評価する
- ・ 評価の対象は、最終結果だけでなく BIM プロセスそのものも含まれる。プロセスで評価を受けるためには中間成果物をデータ共有サーバにアップロードすることが求められる

● アワード

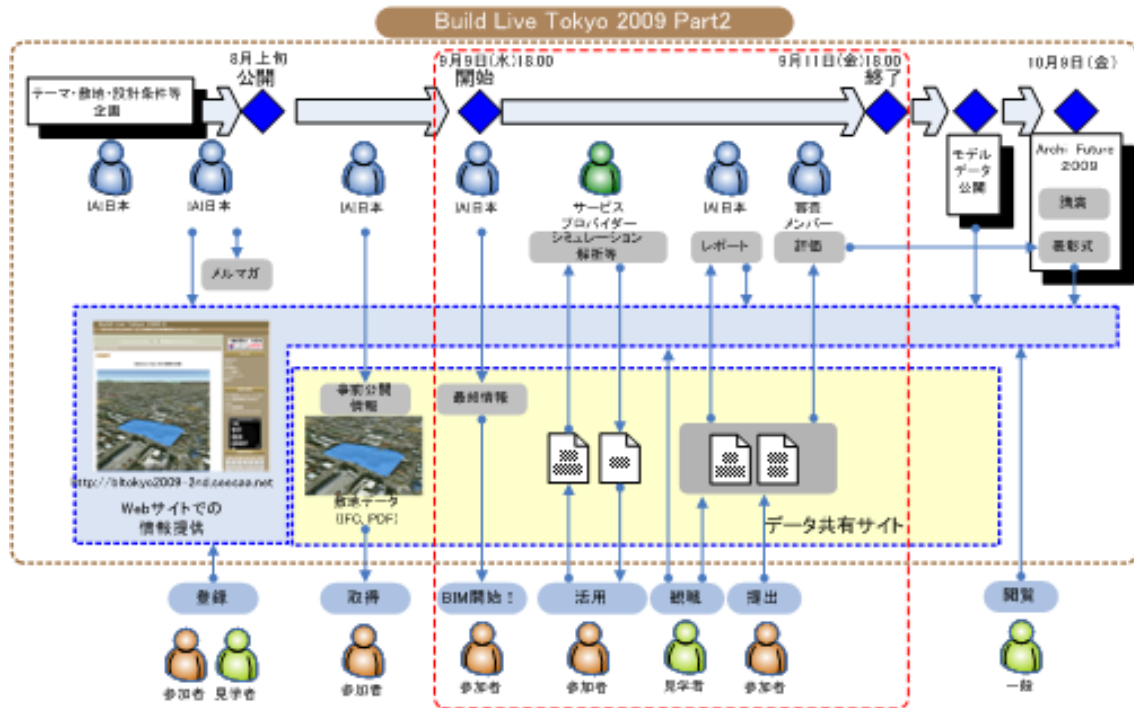
前回までの開催で授与されたアワードと評価軸。

- ・ コラボレーション：.....遠隔地コミュニケーションによる参加
 - ・ イノベーション、BIM テクノロジー：.....総合的な BIM 活用
 - ・ デザインイノベーション：.....デザイン段階での BIM 活用
 - ・ IFC データ連携：.....IFC 活用
 - ・ パフォーマンス：.....少人数による成果物作成
 - ・ コンセプト、アイデア：.....BIM 活用の新展開、新たなチャレンジ
 - ・ 環境設計：.....環境配慮の取り組み
 - ・ エンジニアリング：.....エンジニアリングへの BIM 活用
-

- 課題内容等
 - ・ 公式 Blog (<http://bltokyo2010.seesaa.net/>) で順次公開
 - ・ Build Live 開始時刻に最終的な設計条件を公式 Blog に掲載
 - 終了時点での提出物
 - ・ 中間成果物：データ連携に使用したデータや、チェックポイント確認用のデータを指定のデータ共有サーバにアップする
 - ・ 審査用成果物：主催者が指定する提出物。指定時間までにアップロードする。
 - 審査手順
 - ・ 開催期間中に、データ共有サーバにアップロードされたデータを確認
 - ・ 開催後、評価用として提出いただいた提出物を、審査員が審査
 - ・ Archi Future 2010 会場（10/28 開催）にて、審査結果およびグランプリ発表。入賞チームによるプレゼンテーション
 - 競技の進み方 / データ共有サーバ
 - ・ 主催者は、データ共有サーバの領域を各参加者に割り当てます。各参加者は、割り当てられた領域に、提出物、中間成果物などをアップロードしてください。
 - ・ Build Live 中であっても他チームのデータ共有サーバの内容を参照できます。また、見学者もデータ共有サーバを参照します。
 - 事前セミナー
以下の趣旨で事前セミナーを開催します。
 - ・ BIM の事例紹介。シミュレーション・解析ツールとのデータ連携などを紹介
 - ・ BIM ソフトの使い方。サービスプロバイダの説明会
 - ・ 参加チーム相互のペアリングの場となることを計画
※詳細は、正式 Blog にて公開します。
 - 終了後の提出物
 - ・ 参加に対するアンケートを依頼いたします
 - ・ まとめシンポジウムを計画しています。受賞者にはパネリストを要請し、シンポジウム用の発表資料の作成を依頼します。発表時間はパネル全体で 2 時間程度。日程は 12 月以降。
 - ・ Build Live の作品集作成の際に執筆などを依頼
 - ・ IAI による提出データ分析を行います。分析の際の問い合わせへの回答
 - 広報活用
 - ・ 参加表明をいただいたチームには、チーム紹介のためのアンケートを依頼します。
 - ・ Blog のアクセス記録などによると、Build Live 開催時は見学者を始め多くの方がこのイベントに注目しています
 - ・ Blog、Twitter、UStream、メールなどで実況をリアルタイムに公開します。主催者および公認マスコミによる取材にご協力ください
 - ・ 参加チームで自主的な広報活動を行っていただいてもかまいません
-

● 提出物の再利用について

- ・ アップロードされたデータは、IAI 日本が調査、研究、広報、宣伝のために無償で使用できるものとします。
- ・ 他のチームがアップロードされたデータの成果物の利用は、商業目的、誹謗中傷に類する目的での使用を禁止します。また、他のチーム成果物を引用する場合、出典情報を明記してください



Build Live Tokyo 2009-II の全貌

- IAI 日本 事務局 <http://www.iai-japan.jp/>
- Build Live 事務局
mail : BuildLive@iai-japan.jp